

週間漁海況情報—第10号

平成28年3月15日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

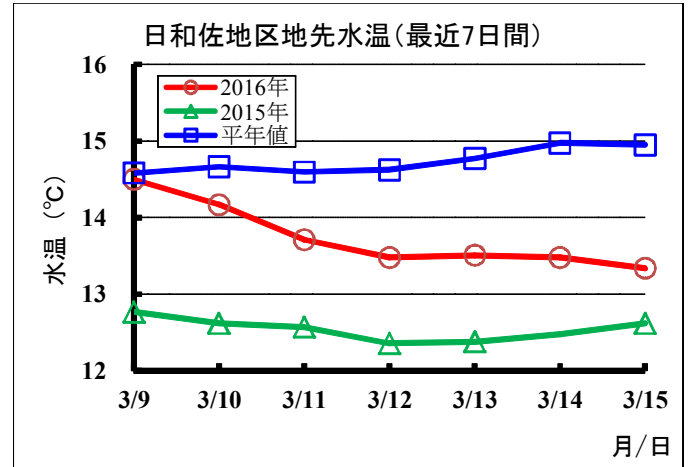
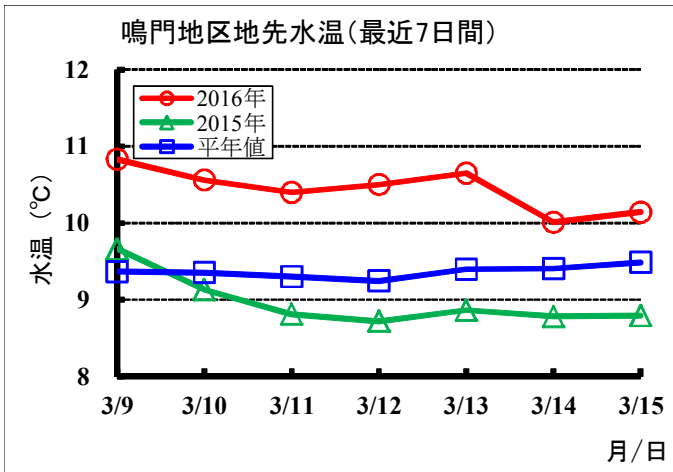
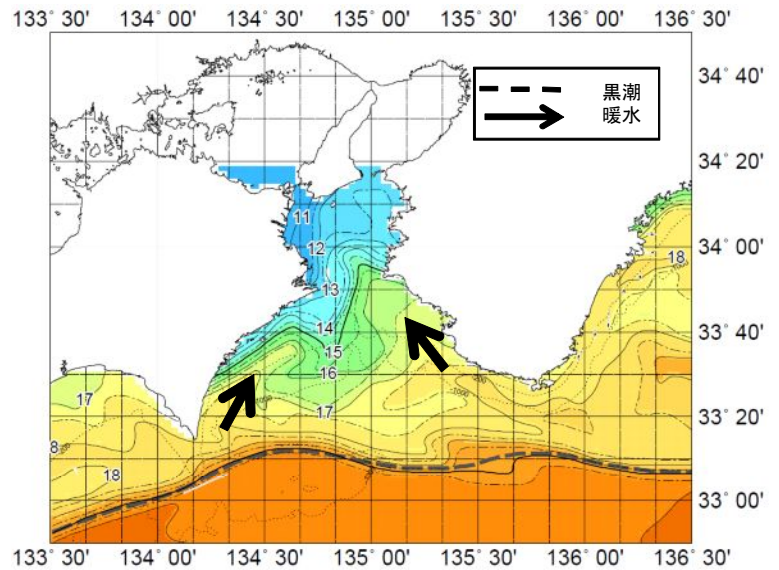
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H28.3.15）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は20℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10℃台、紀伊水道で10～15℃台、海部沿岸では12～14℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸と室戸岬沖からの暖水流入が見られる。



地先水温：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の10.0～10.8℃、日和佐地区は「低め」～「平年並み」の13.3～14.5℃、牟岐地区は「かなり低め」～「やや低め」の11.7～13.6℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

*平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.3トン（1日1隻あたり15kg）、大主体にカマスサワラが0.2トン（同16kg）、シロサバフグが0.2トン（同26kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で中主体にヒラメが0.8トン（同12kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で大主体にマアジが0.4トン（同26kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でカタクチイワシ主体にいわし類が0.6トン（同62kg）、特大主体にマアジが0.8トン（同92kg）、小主体にさば類が0.6トン（同66kg）、ハマチが0.9トン（同103kg）、メジロが0.3トン（同37kg）、ブリが0.3トン（同31kg）、大・中主体にサワラが0.2トン（同23kg）、大主体にスルメイカが0.3トン（同30kg）、大主体にかわはぎ類が0.5トン（同54kg）、大主体にイシダイが0.3トン（同34kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸でタチウオが0.3トン（同73kg）、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.4トン（同46kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2016年3月7日～2016年3月13日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	キダイ	22	329	15	大主体	
		カマスサワラ	14	222	16	大主体	
		シロサバフグ	8	207	26		
建網			ヒラメ	69	847	12	中主体
小型定置網			マアジ	15	396	26	大主体
大型定置網			いわし類	9	558	62	カタクチイワシ主体
			マアジ	9	826	92	特大主体
			さば類	9	591	66	小主体
			ハマチ	9	927	103	
			メジロ	9	336	37	
			ブリ	9	282	31	
			サワラ	9	208	23	大・中主体
			スルメイカ	9	267	30	大主体
釣り	紀伊水道	かわはぎ類	9	486	54	大主体	
		イシダイ	9	307	34	大主体	
		タチウオ	4	293	73		
		タチウオ	9	412	46	特大主体	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」～「高め」の10～11℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並み」の13～14℃台で推移する見込み。